学校番号	209

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	生物基礎　新訂版　（実教出版）						
副教材等	アクセスノート　生物基礎　改訂版（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ノートや配布したプリントをきっちりと書き込み、内容の理解に努めてください。考査前や、後で見て理解できるようなノート、プリントを作成してください。授業やグループワークは、積極的に参加し、わからない点や疑問に思ったことは積極的に教員に質問するようにしてください。予習復習をしっかり行い、内容の理解を深めるようにしてください。考査前には、教科書を読み、示された範囲の問題集をやっておく、事前の演習問題などは、何度もくりかえしやり理解を深めるようにしましょう。実験では積極的に取り組み、自分で考える力をつけてほしいと思います。班やペアでの役割分担や働きに注目します。そして評価を行います。
考査は、問題文をしっかりと読み何を聞かれているのかをよく理解し答えるように。また、時間が余れば見直すようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物についての知識、実験技術が習得できている。
【思考力、判断力、表現力等】
グループ学習で積極的に取り組み、現象や実験結果から考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
新たな課題や目標設定を行うことができ、課題を解決することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生物全般の生命現象やしくみが理解できているか。 ・実験操作を習得し、実験レポートに結果をわかりやすくまとめることができるか。 ・ノート・プリントをわかりやすく整理しているか。	・こちらの発問に対し、的確に答えられているか。 ・生物や人間についての理解が深まっているか。 ・グループワークなどで発言できるか。また内容を取りまとめられるか。 ・レポート作成の内容。	・生物全般について、興味・関心をもち、積極的に授業に取り組むことができるか。 ・仲間と協力して実験・探究する姿勢を示すことができるか。 ・小テストなどにまじめに取り組めるか。 ・レポート作成が行えるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1学期	生物の多様性と共通性	・生物の多様性と共通性 ・生物の多様性と進化 ・細胞	a:生物の多様性、共通性、細胞の構造などの知識を身につけている。顕微鏡の操作を身につける。 b:細胞の構造や違いなどを説明できる。実験結果をまとめることができる。 c:身近な生物に興味を持つことができ、それをレポートにすることができる。	定期試験 小テスト 実験	定期試験 小テスト 実験 グループワーク レポート	ノート プリント 小テスト レポート グループワーク 実験
	生物とエネルギー	・代謝とエネルギー ・酵素 ・呼吸 ・光合成	a:代謝やそれに伴う化学反応の知識を身につける。 b:呼吸、光合成の違いを説明できる。酵素の働きを説明できる。 c:代謝のレポートを作成できる。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト 実験 グループワーク レポート	ノート プリント 小テスト レポート グループワーク 実験
2学期	遺伝子とその働き	・遺伝子の本体 ・DNAの複製 ・タンパク質合成 ・ゲノム	a:DNAの構造、複製、タンパク質合成の知識を身につける。 b:DNAの複製について説明できる。 c:遺伝子についてレポートを作成できる。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト 実験 グループワーク レポート	ノート プリント 小テスト レポート グループワーク 実験
	ヒトのからだの調節	・体内環境と恒常性について ・自律神経 ・内分泌系とその調節 ・免疫	a:恒常性とその仕組みの知識を身につける。 b:恒常性の仕組みについて説明できる。 c:ホルモンの調節についてレポートを作成できる。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト 実験 グループワーク レポート	ノート プリント 小テスト レポート グループワーク 実験
3学期	生物の多様性と生態系	・生態系 ・遷移 ・植生とバイオーム ・生物の多様性 ・生態系のバランス	a:生態系、遷移、バイオームの知識を身につける。 b:世界および日本のバイオームについて説明できる。 c:身近なバイオームについてレポートを作成できる	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト 実験 グループワーク レポート	ノート プリント 小テスト レポート グループワーク 実験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度